

第1回平和祈念資料展示室 あり方検討委員会



日時：令和8年7月2日（木） 10：00～



会場：防災庁舎2階 プレスルーム大(共用会議室2-1)

(1) 現状と課題について

～ 平和祈念資料展示室の現状等～

1. 平和祈念資料展示室の現状

設置年月日	平成13年11月1日	開室時間	平日 10:00～16:00（土日祝は休室）
設置目的	戦没者遺族等の労苦を慰藉し、 平和の尊さを伝える	資料規模	収蔵 約2,300点 / 展示 約300点
設置場所	遺族会館 1階 (展示スペース：約60㎡)	運営形態	宮崎県遺族連合会への委託
		来場実績	年間 約550人



老 朽 化



立 地 環 境

2. 県議会における請願

「戦没者を追悼し平和を祈念する取組の拡充・強化についての請願」

令和7年9月議会 採択

① 平和祈念資料展示室の
移設・拡充

② 語り部講話等の
戦没者遺族援護事業の拡充

③ 「終戦記念日」の
啓発活動の強化

●平和学習をサポートします●

学校等での学習

各種施設

イベントでの展示に…



「貸出しセット」のご案内

宮崎県平和祈念資料展示室では、常設展示の内容をコンパクトにまとめた「貸出しセット」を準備しています。

貸出しセットは、写真や実物資料（一部複製）で構成され、それぞれに解説文が付いています。

（セットにより貸出し内容が変わることがあります）



平和について
考えよう！

宮崎県シンボルキャラクター
みやざき犬
許可第 270014 号

利用ご案内

■開室時間／午前 10 時～午後 4 時（入場無料）

■休 室 日／土・日・祝祭日、年末年始

※その他、業務の都合により休室する場合があります。

■駐 車 場／完備（無料）

※大型車はご相談下さい。

アクセス

■アクセス／JR 宮崎駅からタクシー約 5 分、徒歩 20 分
宮崎交通橋通 2 丁目バス停から徒歩 5 分



くわしくは…

■ホームページ

「宮崎の戦争記録継承館」
をご覧ください。

宮崎の戦争記録継承館

検索



宮崎県平和祈念資料展示室

〒880-0012
宮崎市末広 1 丁目 5 番 19 号
（宮崎県遺族会館 1 階）

電 話 (0985) 22-2858
FAX (0985) 20-9495

宮崎県 平和祈念資料展示室



忘れないで、
伝え続けたい

展示室ご案内

遺されし品々



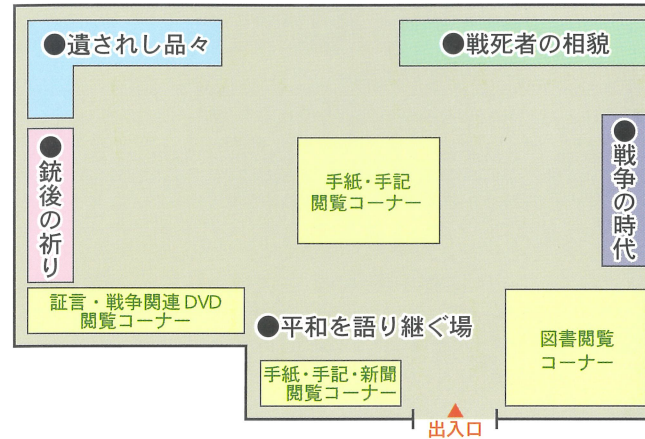
本県出身の満州事変以後の戦死者は、旧陸海軍を合わせて3万6千人以上に達しました。このコーナーでは、戦没者の遺された様々な遺品類を展示しています。

戦時中、一般国民は銃後と呼ばれました。銃後の女性達は、戦地に向かう夫、息子、父親など愛する人のために千人針を縫い、ひたすらその無事を祈りました。このコーナーでは、「千人針」「お守り」「慰問文」などを展示しています。



銃後の祈り

展示室内案内図



平和を語り継ぐ場

戦死者が家族や郷里に宛てた手紙、手記類の閲覧ができます。また、戦争体験者の証言や、遺骨収集に関する映像を見ることが出来ます。戦争に関する図書の閲覧コーナーもあります。

戦死者の相貌



戦時中は男子総人口の4分の1、ほぼ2世帯に1人強が出征しました。本県では、旧陸海軍を合わせて約15万人が戦争に参加しました。このコーナーでは、出征や戦場での様子がわかる、「馬匹徴発告知書」「備忘録」や、戦死者の思いを伝える「遺書」などを展示しています。

戦争の時代

昭和6年に始まった満州事変は、12年に支那事変（日中戦争）に拡大し、16年には太平洋戦争に突入しました。昭和20年の終戦まで、15年にわたる過酷な戦争の時代が続きました。

このコーナーでは、昭和初年から終戦までの過程を年表と写真で展示するとともに、「臨時召集令状」「現役兵証書」など戦時下の県民生活に関わる資料や、本県関係の部隊の資料を展示しています。



(1) 現状と課題について

～平和祈念資料展示室あり方検討委員会の設置目的と検討内容案～

設置目的

宮崎県平和祈念資料展示室の移設を含めた今後の方向性や将来像、
新たな施設や展示の具体的内容等の展示室の諸問題について検討すること

検討内容（案）

下記の検討事項について意見交換を行う。

① コンセプトについて

② 移設について

③ 展示内容・活用について

(2) コンセプトについて ～ 展示室が直面する課題 ～

- 戦争体験者の高齢化

- 展示室の環境

- 展示室の継続運営

(2) コンセプトについて ～ 基本コンセプト案と3つの意義 ～

【 基本コンセプト案 】

戦争の記憶を風化させないために、
若い世代をはじめ広く県民に対して平和の尊さを伝えていく

▼ 基本コンセプト案の意義

戦争体験の継承

+

平和学習

過去の戦争を記録するだけでなく、
平和について考える機会を提供する

遺族

+

県民全体

遺族の思いを尊重しながら、
県民一特に若い世代に平和の大切さ
を実感させる

追悼

+

発信

追悼と敬意を保ちながら、
平和の願いを発信する施設へ
進化させる

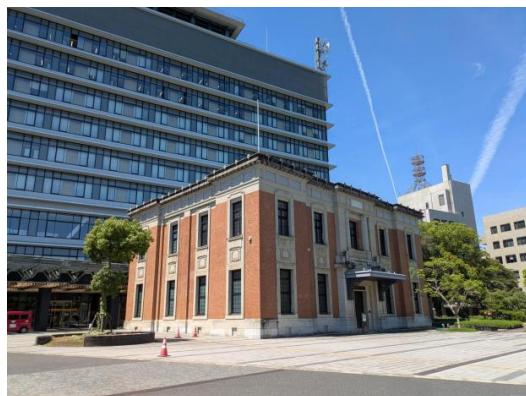
（３）移設について

～ 平和祈念資料展示室 移設先候補の比較検討表 ～

区分	候補地	メリット	デメリット・課題
県有施設 (既存利用)	① 県庁 5号館	・ 賃料負担がなく、運営コストを最小化可能 ・ 公的施設内のため、行政との連携が容易 ・ 庁舎駐車場を利用することで教育旅行等の受入も可能 ・ 国登録有形文化財に指定されており、展示との親和性が高い	・ 庁舎として使用中（会議室）であり、関係部署との調整の可能性有り ・ 文化財保護や災害対応の関係から、展示方法に制限がかかる可能性有り
	② 県庁 9号館	・ 賃料負担がなく、運営コストを最小化可能 ・ 公的施設内のため、行政との連携が容易 ・ 庁舎駐車場を利用することで教育旅行等の受入も可能	・ 庁舎として使用中（日本のひなた宮崎国スポ・障スポ）であり、大会後に関係部署との調整の可能性有り
	③ 県総合博物館	・ 既存の展示設備やノウハウを活用可能 ・ 集客力や現展示との関連性有り	・ 独自の展示スペース確保が困難
民間施設	宮崎市内の 貸しオフィス等	・ 立地条件を選択しやすく、利便性を確保可能 ・ 設備が整っており、早期移設が可能	・ 継続的な賃料発生 ・ 展示用改修に制限がある場合が多い ・ 長期的な展示に課題有り
新設	専用施設の建設	・ 理想的な展示導線や設備をゼロから構築可能 ・ 象徴的な建物として独自の価値を付与	・ 莫大な建設コストと維持管理費が必要 ・ 完成まで数年単位の期間を要する

検討候補地の外観・内観・位置図

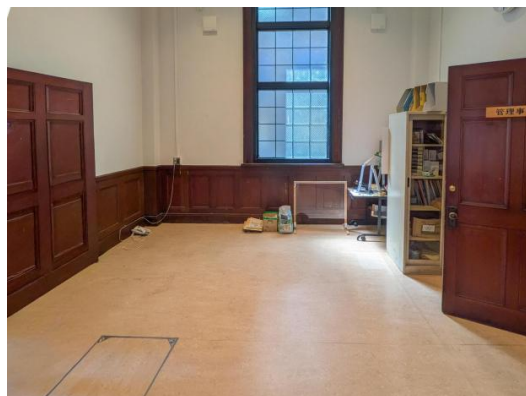
県庁 5 号館



外観



1 階ロビー



1 階会議室



2 階会議室

県庁 9 号館



外観



1 階執務室



2 階会議室



県庁 9 号館の位置

県庁5号館・9号館の位置図



（３）移設について

～ 各県平和資料施設の状況（比較検討資料）～

比較項目	北海道	埼玉県	東京都	神奈川県	愛知県	滋賀県	沖縄県
(1) 施設名	樺太関係資料室	埼玉県平和資料館	東京都戦没者 霊苑遺品展示室	かながわ平和祈念 館	愛知・名古屋 資料館	滋賀県立 平和祈念館	沖縄県 平和祈念資料館
(2) 設立主体	北海道	埼玉県	東京都	神奈川県	愛知県・名古屋市	滋賀県	沖縄県
(3) 開館年月	令和7年7月	平成5年8月	昭和56年 (R5リニューアル)	平成7年8月	平成27年7月	平成24年3月	平成12年4月
(4) 収蔵数	約9,000点	54,995点	2,700点	400点	21,221点	60,000点	32,000点
(5) 展示数	124点	300点	120点	200点	300点	550点	750点
(6) 面積	225㎡	2,930㎡	134.08㎡	205㎡	193.75㎡	3,115.45㎡	10,179㎡

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」について

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、県民の皆様から寄せられた、戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことにより、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的としています。

◎資料の寄贈について

当館では、県民の皆様から寄贈された実物資料を中心に展示を行っています。寄贈のご相談は、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」までご連絡ください。

◎その他

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」では、夏休み特別企画などのイベントを実施しております。詳細は随時、ホームページの「イベントのご案内」に掲載しますのでご確認ください。

「愛知県庁大津橋分室」について

愛知県庁大津橋分室は、黒川巳喜氏(黒川紀章氏の父)、土田幸二郎氏らが設計した地上3階・地下1階建ての鉄筋コンクリートの建物で、昭和8(1933)年に建設されました。

正面右手に階段塔を配することで建物全体を非対称とし、表現主義的な意匠が用いられています。

また、1階外壁は石張り、2階以上はスクラッチタイルで覆われるとともに、1階天井は手の込んだ漆喰装飾が施されています。

愛知県信用組合連合会によって建設され、昭和32(1957)年に社団法人愛知県農林会館から愛知県に寄付されました。



〈テラコッタ〉松明飾りなどの装飾が施されています。

〈スクラッチタイル〉

ひっかき模様を刻んだタイルで、昭和初期に流行しました。



ご利用案内

開館時間 午前10時から午後4時まで

休館日 月曜日・火曜日(祝日は開館し、直後の平日が休館)、
年末年始、その他展示替え等による臨時休館あり
※休館日のご利用についてはご相談ください。

所在地 愛知県庁大津橋分室 1階

入館料 無料



〔交通案内〕

- 地下鉄名城線「市役所」4番出口から南へ徒歩約5分
- 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から北へ徒歩約8分
- 市バス「大津橋」から徒歩約1分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



愛知・名古屋 戦争に関する資料館

お問い合わせ

住所：〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号

愛知県庁大津橋分室 1階

TEL：(052)957-3090 / FAX：(052)957-3091

e-mail：an-shiryokan@ark.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin-soumu/chosakai/>



「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、愛知県と名古屋市が共同で設置した「戦争に関する資料館運営協議会」によって運営されています。



愛知・名古屋 戦争に関する資料館



愛知県庁大津橋分室

語りつぐ 平和へのねがい

滋賀県平和祈念館は、県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和への尊さを学び、平和を願う心を育むための拠点となる施設として、平成24年（2012年）3月に東近江市に開館しました。

3つの基本理念

●モノと記憶の継承

収集された資料や当時の戦争体験談を通して、戦争体験者それぞれの思いや願いを次世代へと語り継いでいきます。

●自らできることのきっかけづくり

資料と多様な学習プログラムを組み合わせることで、戦争と平和について考え、平和への思いを深めるきっかけになることを目指します。

●県民参加型の運営

幅広い県民が参加し、展示やさまざまな活動を通して、新たな人と人とのつながりが生まれ、今からできることや未来に向けた新たな行動が生まれることを目指します。

学校や地域の平和学習をサポートします

滋賀県にゆかりのある方々から寄贈していただいた当時の資料や戦争体験談を活用して、学校や地域での平和学習のサポートを行っています。

- ・展示見学、館内学習のサポート
- ・学校や地域への出前授業、収蔵資料を活用した授業のサポート
- ・収蔵資料、写真パネル、映像資料などの貸し出し

お気軽にご相談ください。

当館ホームページから、戦争証言映像や滋賀に残る戦争遺跡映像などの動画がYouTubeでご覧いただけます。

ご利用案内

- 入館料 / 無料
- 開館時間 / 午前9時30分～午後5時
(入館は、午後4時30分まで)
- 休館日 / 月・火曜日（祝日にあたる場合は開館）、年末年始
※その他、業務の都合により休館する場合があります。
- 駐車場 / 約50台（無料）

アクセス



- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- JR琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

くわしくは、

当館ホームページをご覧ください。

滋賀県平和祈念館

検索



滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地
TEL：0749-46-0300 / FAX：0749-46-0350
E-mail: heiwa@pref.shiga.lg.jp

滋賀県平和祈念館



Shiga Peace Museum